

2020年2月13日

○ 2月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の設楽でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは4点お話しをさせていただきます。
- まずはじめに、7号機の工事計画に関わる原子力規制委員会による審査の状況についてです。  
今月4日の審査会合においては、使用済燃料貯蔵プールの水位監視設備の設置方針や原子炉建屋に設置されているブローアウトパネルの改良方針について説明いたしました。  
引き続き、原子力規制委員会による審査に真摯かつ丁寧に対応してまいります。
- 次に、昨日12日に実施しました柏崎市消防との合同訓練について概要をお伝えします。今回は、夜間帯における荒浜側洞道内ケーブル火災を模擬したシナリオでの消火活動訓練を実施いたしました。新たに洞道内で通信設備を用いることで、現場状況の情報共有の迅速化を図る訓練も行いました。有事の際にも確実に対応できるよう、引き続き継続的な訓練に努めてまいります。

○ 3点目は、来年度の「原子力モニター」の募集についてです。

当発電所では、柏崎市、刈羽村、その周辺にお住まいの方から「原子力モニター」を募集し、発電所の見学会や意見交換会などの活動にご参加いただいております。

来年度も、原子力発電の仕組みや放射線の基礎知識、発電所の安全対策、原子力防災など、多岐にわたるテーマで計5回の開催を予定しており、今月5日より募集を開始しています。

この取り組みを通じて、原子力発電やエネルギーについての理解をより深めていただける機会としていただくとともに、モニターの皆さまからの率直なご意見を発電所内へフィードバックすることで、発電所員の日々の仕事に対する意識向上に努めてまいります。

○ 最後に、サービスホールのリニューアルについてです。

昭和54年の開館以来、多くの地域の皆さまにご利用いただいていたサービスホールは、来月20日にリニューアルオープンいたします。映像や模型、プロジェクションマッピング演出などを用いて、原子力発電の仕組みや当発電所の安全対策、発電所員の訓練の様子などを分かりやすくお伝えするとともに、福島第一原子力発電所における廃炉作業の進捗状況もご紹介しています。また、小学生を対象としたキッズフロアを設置し、親子でも楽しみながら学べる展示館といたしました。

オープン初日から3日間は、リニューアルを記念したイベントを開催しますので、ぜひご来館いただけたらと思います。

引き続き、このサービスホールを地域の皆さまの憩いの場、コミュニケーションの場としてご活用いただき、多くの皆さまに親しんでいただけるPR館にしていきたいと思います。

○ 本日、私からは以上です。